株式会社 マルトク

高い加工技術を生かし福祉器具を開発

納期相談　企画力自信有　コスト相談　メイドインジャパン　試作可小ロット　量産対応

金属から樹脂までの加工品群

業務内容　協力工場200社で一貫生産体制構築、自社製品も

「マルトク」は約２００社にも及ぶ協力工場と緊密に連携することで、旋盤、フライス、レーザー、放電などの加工から、焼き入れ、めっき、塗装などの表面処理まで一貫生産体制を構築している。鉄やチタンなどの金属からプラスチックなどの樹脂まで幅広い素材を扱い、試作から多品種小ロット、量産まで顧客のあらゆるニーズに応えている。

その結果、取引先は産業機器、レジャー用品、福祉機器、医療機器など幅広い分野に広がる。平成８年には高齢者用の”杖“を開発し、製造・販売を始めるなど、現在は自社製品にも力を入れている。

強み　豊富な加工技術と協力工場を組み合わせ最適提案

豊富な加工技術や多くの協力工場を組み合わせることで、顧客の多様なコスト、納期、品質に応じ、最適な提案ができる点が強みだ。品質を重視しながら、協力工場を含めたあらゆる作業工程を管理し、月５００種類もの製品を加工している。もう１つの強みは製品によっては朝の注文を夕方に納品できる体制や、急な寸法変更や穴開けなどにも対応できる点だ。

年間の取引先は約１００社。その中には試作から量産まで任せてくれる顧客が10社ほどある。鈴木宏明社長は「うちの良さを理解してくれ、毎回相談してくれる」と目を細める。

独自製品　社会貢献、高齢者向け杖開発、累計10万本販売

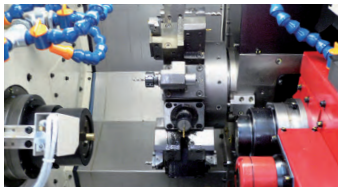
「自社製品を持ち、社会に貢献したい」と鈴木社長が平成８年に開発を始めたのが高齢者向け”杖“だ。取引先からのヒントをもとに、平成９年８月に１本杖「つくつく」を完成し、病院を通じて販売を始めた。平成10年３月には杖が伸縮し、カラーを10色に広げた「らふらふ」を１本５,８００円（消費税別）で発売している。さらに平成12年３月からは携帯しやすい折りたたみ式「るんるん」も追加した。

現在では、百貨店、生活雑貨専門店などにも販路は広がり「累計の販売本数は10万本近い」と鈴木社長は胸を張る。

今後の展望　見える化で品質向上、自社製品幅広げ、社会貢献も

品質向上のため、自社工場の生産体制を充実させ、協力工場との連携を強化して、独自の品質保証体制の確立を目指す。具体的には検査方法の統一やＩｏＴ（モノのインターネット）化により情報の”見える化“を進める。

一方、自社製品については杖以外に、歩行補助具などにも視野を広げ「笑顔あふれるライフスタイルを提案する」を基本理念に、多様な福祉器具の提案に力を入れる。鈴木社長は「これで売り上げに占める自社製品の割合を、現在の10％弱から５年をめどに20％―30％に引き上げたい」意向だ。これらの取り組みを通じ、社会への貢献を目指している。



高精度加工品に対応した機械設備

国内生産の自社製品「らふらふ」

当社の歴史

大阪29

昭和31年の創業時は、ボルトやナットを販売していましたが、「こんな製品ができないか」との顧客の声に部品加工を始め、今は金属や樹脂などのさまざまな部品を加工しています。平成８年には、自社製品への思いと高齢化社会への貢献という気持ちから高齢者向けの杖にも取り組んでいます。

代表取締役 **鈴木 宏明**さん

http://www.kk-marutoku.co.jp/

主な事業内容

金属、プラスチック部品加工・販売、福祉用具製造・販売

主な取引先（納入先）

産業機器メーカー、レジャー用品メーカー、食品検査機メーカー、医療機器関係、福祉機器関係

●住　所　〒537-0011 大阪市東成区東今里2-16-18
●ＴＥＬ　06-6976-4101
●ＦＡＸ　06-6976-4102
●創　業　昭和31年３月
●設　立　平成３年12月
●資本金　3,200万円
●従業員　7名